

平成30年度 第1回 岡山市浸水対策推進協議会会議録

午後2時58分 開会

○山川課長 それでは、定刻となりましたので、ただいまから平成30年度第1回岡山市浸水対策推進協議会を開会いたします。

開会に当たりまして、桐野下水道河川局長からご挨拶を申し上げます。

○桐野局長 はい。委員の皆様には、大変お忙しい中、平成30年度第1回目となります協議会にご参加いただきましてありがとうございます。

昨年4月に岡山市浸水対策の推進に関する条例ということで施行しました。その中で、条例に基づいて浸水対策推進協議会を設置するというので、昨年は5回、大変多くの回数のご審議をいただきました。おかげさまをもちまして、10月には岡山市浸水対策基本計画2017、あわせて雨水流出抑制対策の手引ということで策定させていただきました。また、3月には浸水対策行動計画2018ということで策定することができました。会長初め委員の皆様方の熱心で積極的なご審議等をいただきまして、大変ありがとうございました。感謝いたします。

さらに、この条例の施行に合わせて、平成29年4月から、市民の方が各ご家庭で雨どいの水を一部貯留していただくようなタンクを設置することに際して、市のほうでも幾らか助成をするということで始めさせていただきました。おかげさまで、昨年は初年度ということで、広報もある程度できたのかなというところで、166基、166人の方に設置をしていただいたということで。幾らか、そういった意味で市民の方への、そういった意識づけというんですか、そういったことも、少しずつではありますが、できてきているのかなと思っています。

それからまた、この4月から、3,000㎡以上の土地に関する開発行為等に際しての雨水排水計画の協議の義務化、あわせて、そうした際に設置していただく雨水貯留、流出抑制施設ですね、そういったものへの助成制度の拡充、そういったものも開始したところでございます。

そういった形で、今後浸水対策、積極的に進めていきたいと思っております。本年度は、この3月に策定した行動計画に基づいて、実際の施策を本格的にスタートしていくというところなんです。今後、その施策の進行管理、そういったものが重要になってくると思っております。委員の皆様には、浸水対策条例、お手元の資料の2ページ、3ページに、条例の

抜粋をつけさせていただいています。その中の第21条で、所掌事務ということで、協議会の所掌事務の第3号で「その他浸水対策の推進に関すること」という項目がございます。それに基づきまして、行動計画の進行管理、そういったもの等についても引き続きご審議をお願いしたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

○山川課長 はい、ありがとうございました。

それでは、議事に入ります前に、本日は、安倉俊雄委員、齋藤美絵子委員がご欠席ですが、8名ご出席をいただいております、委員数が過半数に達しておりますので、会議は成立していることを報告させていただきます。

また、議事に入る前に、配付資料の確認をさせていただきます。

お手元の資料は、平成29年度第5回協議会の議事録、それから今回の会議次第、本協議会の委員名簿、岡山市浸水対策の推進に関する条例、抜粋版です。それから、資料1、右肩のほうに資料1と書いてありますが、岡山市浸水対策行動計画2018の進め方、資料2で、行動計画の進行管理スケジュール、パワーポイントの1枚物の資料でございます。それから、資料4として、取り組み状況のチェックシート、これも1枚物の、資料3、岡山市浸水対策行動計画フォローアップ担当課（案）です、失礼しました。それから次が、資料4でございまして、取り組み状況チェックシートでございます。資料5の、定量的指標の目標値、これは1枚物でございます。それから続いて、資料6で、「岡山市浸水対策推進の広報について」となっております。

資料が足りない方、ございましたら、お申し出いただきたいと思えます。大丈夫でしょうか。

また、委員名簿に記載させていただいておりますが、年度が変わりました、職名などに変更がございましたら、お申し出いただけたらと思えますが、よろしいでしょうか。

それでは、西山会長、今後の議事進行につきまして、よろしく願いいたします。

○西山会長 はい、ありがとうございました。

改めまして、委員の先生方、年度が変わりました。第1回目ですけれども、新たな気持ちで、今、局長から説明ありましたように、行動計画に基づく施策と、今度、管理する仕事が入ってまいります。また後で計画を見ていただきますけれども、引き続きまして、今年度も活発なご議論、よろしく願いいたします。

それでは早速、議事を進めていきたいと思えますが、その前に、昨年度もそうでしたけれども、この会議は原則公開ということになっております。特別、非公開のほうが望ましい

という場合は非公開にもできますが、委員の先生方、どうでしょうか、もう公開でよろしいかと思いますが。ご異議なければ、公開で進めさせていただきます。よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○西山会長 はい、ありがとうございます。

それから、傍聴希望者の方、おられましたら、一括して許可いたします。事務局の方、どうぞ対応、よろしく願いいたします。

○山川課長 おられません。

○西山会長 はい、わかりました。

では早速、議事次第に基づいて行きますが、その前に議事録、資料の中、お手元、入っておると思います。議事録について、何かご意見、この場でありましたら承りたいと思いますけども、また会議終了まで、何か、さっと見ていただいて、お気づきのところがあれば。今日、議論進めながら、前回、どうだったかな、振り返っていただいて、この資料を見ることもあると思います。その際でも結構ですので、ご意見いただきたいと思います。

最終的には、修正がないようでしたら了承ということで、署名人、こちらのほう、齋藤光代委員、本会終了後に署名捺印をお願いするということをお願い、依頼させていただきたいと思いますので。それから、もう一人、齋藤美絵子委員、今日ご欠席ですけども、後日、事務局のほうで署名捺印、よろしく願いしたいと思います。

それから、これが前回の議事録です。本協議会の議事録署名人、会長が指名することになっております。引き続きまして、今回も齋藤光代委員、柴山委員をお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。

よろしく願いいたします。

それでは早速ですが、議事1の岡山市浸水対策行動計画2018の進行管理の説明、事務局の方、よろしく願いいたします。

○瀬島課長 はい、河川防災担当課長でございます。またよろしく願いします。

それでは、議事につきまして、座って説明させていただきます。

まず、お手元の資料1をご覧ください。

これでは、平成28年度に制定した岡山市浸水対策の推進に関する条例で策定が義務づけられております岡山市浸水対策基本計画におきまして、水害に対して、市民の日常生活の確保、都市機能の確保、市民の生命の確保、この3つの目標を掲げております。この目標

は、概ね30年後の岡山市の姿をあらわすものとなっております、今後着実にこの目標を達成するため、お手元に冊子をお配りしておりますけれども、岡山市浸水対策行動計画2018を今年3月に策定しました。

この行動計画は後ほどご説明させていただきますが、資料3にありますように、当市の37の浸水被害防止の施策に対し、短期目標5年後、中期目標10年後の目標を持ちまして、概ね30年後の水害に対する岡山市の姿を達成するためのアクションプランとなっております。

そこで、このアクションプランにおける短期・中期の目標を着実に達成させ、最終的には基本計画に係る目標をなし遂げるために、短期・中期目標達成に向けた作業スケジュール、当該年度どのような浸水対策の取り組みを実施するかを記載した取り組み状況チェックシート、これ、後ほど具体的な内容をご議論していただこうと考えておりますけど、資料4でございます、これを市の担当部署で作成し、実行に移すというスタイルを考えております。浸水対策の目標達成には、担当部署が浸水対策の必要性を再認識しまして、その部署でできることを着実に実行することが大切であると考えております。

次に、お手元の資料2をご覧ください。

これは、今後の行動計画の進行管理をP D C Aサイクルで実施していくことを表現した年間スケジュールでございます。

9月から10月にかけて、次年度、どのような浸水対策の取り組みを実施するかのチェックシート案を、まず当市のほうで作成します。11月から、11月中旬から12月上旬頃に協議会、この本協議会のほうで、その内容について報告しまして、修正等があれば、その内容を反映したもので、次年度、4月から事業実施に取り組みたいと考えております。

この後、3月から翌年度4月にかけて、取り組んだことについて実績を取りまとめまして、その後、5月頃に実績について、またこの本協議会のほうでご審議していただきまして、その結果をもとに担当部署等で調整を行いまして、次年度のチェックシート等に反映させていくというP D C Aサイクルを考えております。

今年度は初年度ということで、P、計画として位置づけているチェックシートの予定説明、これが今のこの本協議会のほうでお諮りするというふうになっておりまして、今年度は特殊となっております。

以上、ご説明させていただいたように、協議会の方々におかれましては、計画と評価、この部分には是非ともご参画をいただきたいと思いますと考えております。

説明は以上でございます。

○西山会長 はい、ありがとうございます。

委員の皆様方、お手元の行動計画、議論いただきましたけど、開いていただきますと、1ページ、2ページ、ここに色分けして記載していただいております、資料1もそれに基づいて、まず最初の点線の枠の中に色分けしていただいております。それから、資料2で、この協議会の位置づけですね、冒頭申しましたように、プラン、チェック、管理という言葉を使わせていただきますけども、これらが、先生方をお願いする中身になってまいります。

資料1と2、現段階で何かお気づきのことがありましたら、何でも結構ですので、ここ、どうなってる、これ、どういう意味だとか、改めて協議会の位置づけにつきまして、お手元のこちらの2018、PDCAのサイクルに基づく進行管理を行っていくと、明確にうたって配付されております。何かご意見ありましたら承りますが、いかがでしょうか。

20年とか30年というので、このサイクルが30年続くのかと。続きますので、ご覚悟をさせていただきたいと思いますが、初年度は。

はい、西村委員。

○西村委員 はい。PDCAでプランとチェックとしていくという話なんです。例えば、5年後の目標に対して、到達してなかったじゃないかといった場合に、この協議会が、到達してないから到達しなさいって、言うのは言えるんですけど、何せ、これ、お金かかることですから、その辺は、協議会としての権限というか、その辺はどういうふうなイメージなんでしょうか。

○西山会長 この後、資料4で、そのチェックシートの説明が入ってまいりますけども、事務局から何かご意見ございますか。

○瀬島課長 はい。基本的には、協議会の委員の方々、皆様のほうで、当局でつくった案、プラン等について、どうしていったらいいとか、そういうご意見をいただきたいという。基本的には4月、5月のところで、チェックという形で、協議会の委員の方々にこれに対しての進捗状況、そういうものもご意見をいただきまして、それをぐるぐると1年間回して、5年後、どうであったか。そこで到達してなかった、どうかという話であれば、また当局のほうで計画案とかそういうのを練り直すということなので。意見としては、協議会の委員の皆様方にどんどんと意見をいただきたい。それで、また新しい、いいプランをつくっていききたいというふうに考えております。

○西山会長 こうお考えいただきます。あくまで、これ、市の皆さんが一生懸命やってくださることですけども、我々の立場として、第三者として、それが本当に目標、年度ごと出てまいりますけども、できたかどうかというのを行動者が自分たちでチェックするのじゃなく、第三者機関として、できてない、できてるもの、それはここで評価していただきたいと思います。おっしゃるとおり、お金かかって、ですけども、一応、この行動計画は、無理なきようにというんですかね、最低限のところは、市民の生命確保とか、いろいろな目標のために、都市機能の確保のために、やろうじゃないかと、委員の皆様方、議論いただきましたので。それを、ドゥー、アクションのところで、素直に、客観的に、できてないものは、むしろ、できてないじゃないかと言う機関の協議会にさせていただきたい。

一緒に、じゃあ、そのために何が課題になってできなかったかというのは、ここに出していただいて、そこで無理があったら、ここでもう一回修正させていただいて、市民に発信する。ですから、どちらかというと、第三者、厳し目でチェックいただいて。それにまた、やりとりしながら、じゃあ、ちょっと修正しましょうかというご意見も是非いただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

ほか、委員の先生方、何かお気づきになるようなことや、今確かめておかなきゃいけないというところはございますでしょうか。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○西山会長 はい、それでは次の議題、議事2、浸水対策スケジュールと今年度の目標、この説明、事務局の方、お願いいたします。

○瀬島課長 はい。それでは、議事2、浸水対策のスケジュールと今年度の目標についてご説明させていただきます。

それでは、お手元の資料3をご覧ください。

これは、行動計画に記載した、当市で実施する37の浸水対策の施策を抜粋し、実際に事業をする実施担当課と、その施策を取りまとめる、取りまとめ担当課を明記したものとなっております。

次に、資料4をご覧ください。

取り組み状況チェックシートとしまして、先ほど触れました短期・中期目標のスケジュールと、今年度どのようなことをするかをお伝えしたものでございます。

上段の基本方針から中期の目標につきましては、お手元の行動計画を抜粋したものでございます。

それとあと、次のスケジュール、バーチャートの上の2018の取り組みにつきましては、今年度、どのようなことに取り組むかを記載したものでございます。

次のスケジュール、バーチャートにつきましては、短期・中期目標達成のための取り組み内容になっておりまして、どのようなことをいつまでに実施するかを記載したスケジュールとなっております。

次の欄、進捗率、これは定量的な目標を設定した施策のチェックシートのみに記載しておりますけれども、短期・中期の進捗率をあらわすものとなっております。この進捗率のもととなる数値と定量的な施策の目標値につきましては、資料5、これに記載しておりますので、後ほどご確認をしていただきたいと思います。

最後の欄につきましては、当該年度にどのような浸水対策を実施するかというものと、実績でございます。これは、次年度の5月頃にお示しすることとなっております。目標に対しどうであったかを記載する実績欄と、目標欄となっております。今回、実績欄につきましては、まだ実績がありませんので空欄となっております。

それでは、具体的に河川、下水道の整備として、番号1、行動計画では12ページの、「倉安川からの外水氾濫を防ぐ河川整備」について、具体的にご説明させていただきたいと思います。

まず、番号1、施策として2-1-2の「倉安川からの外水氾濫を防ぐ河川整備」のチェックシートをご覧ください。

まず、短期・中期目標につきましては、抜粋でございますので、以降、説明は省略させていただきます。

今年度、2018年、今年度の取り組みとしましては、一次改修（護岸整備）これを整備するという、整備の実施というのを目標としております。

取り組み内容、下の欄でございますけど、まず取り組み内容としましては、一次改修の整備、それとサイフォン部の改良、中期目標としては二次改修ということ、短期・中期のスケジュールとしては上げております。

それと次に、本年度の取り組み目標としましては、一次改修（護岸整備）、工事発注と施工延長とを書かせてもらっております。それと、サイフォン部の改良、これは今年度、サイフォン部につきましては2017年に工事をしておりまして、その、今年度は効果検証をするということを考えております。

次のページをお開きください。

番号としては2番、施策としましては2-1-3、行動計画のページ数としましては14ページ、「流域の排水を担う排水機場の整備と長寿命化対策」でございます。

今年度の取り組み内容としましては、新設排水機場の整備と長寿命化計画ということでございます。

短期・中期の目標としましては、まず3地区、具体的な計画が定まっております3地区の新設排水機場の整備のスケジュール。その他につきましては、まだ具体的には定まっていないものが「その他」となって、計4カ所の新設排水機場の整備のほうを上げさせてもらっております。長寿命化計画につきましては、今年度、長寿命化計画の策定をし、今後11基の、市が管理する11基の排水機場について長寿命化対策を実施していく予定としております。

○西山会長 こういう形で、長くなりますが、お気づきのときがありましたら、中断してもらって結構ですので、ご意見お願いいたします。

はい、引き続き、どうぞ。すいません。

○瀬島課長 それでは、今年度の取り組み目標につきましては、新設排水機場の整備としまして、それぞれ発注予定、契約予定時期を記載させてもらっております。長寿命化計画としましては、今年度は長寿命化計画を5月策定予定としておりまして、今後、実施担当課と協議を予定という形を考えております。

○西山会長 すいません、また恐縮です。番号、1番から、12番で一旦とめたいと思えますので。河川・下水道整備に関して、一旦とめたいと。12番まで通してお願いします。

○瀬島課長 はい、わかりました。

それでは次に、3番と9番、これは同じ内容、再掲されておりますので、チェックシートとしては1つにまとめさせてもらっております。行動計画のページ数としましては、19ページと26ページに掲載されておるものでございます。「重点地区の下水道整備（浦安排水区）」と、「暫定貯留管などの整備」でございます。

今年度の取り組みにつきましては、浦安11号雨水幹線（低段系）の整備の工事着手と、浦安12号雨水幹線（高段系）の一部区間の整備の実施というのを目標として、取り組みとして上げさせてもらっております。

短期・中期の内容につきましては、浦安11号幹線と浦安12号幹線の整備と、暫定貯留管である浦安11号雨水管整備と、最後に、他の排水区での暫定供用の検討という項目を上げさせてもらっております。スケジュールとしては、書かせてもらっておるものでござい

す。

次に、今年度の取り組み目標でございますけれども、下段でございますけれども、浦安11号雨水幹線（低段系）の整備として、一次覆工等の計画のほう、契約予定等を書かせてもらっております。次に、浦安12号（高段系）の整備としましても、工事の発注時期等、これを書かせてもらっております。

次に、番号4、行動計画の番号としては21ページとなっております。2-2-2「重点地区の下水道整備（西排水区）」でございます。

今年度の取り組み内容としましては、今年度の目標、取り組みとしては、考えてはおりません。短期・中期の予定としましては、雨水幹線（高段系）の整備と、整備計画の策定というものを項目として上げさせてもらっております。

次に、番号5、行動計画のページ数で言うと22ページ、2-2-2、「重点地区の下水道整備（芳田排水区）」でございます。

今年度の取り組みとしましては、低段系への雨水取水ゲートの設置というのを考えております。

短期・中期の取り組みの項目としましては、雨水取水ゲートの設置と芳田14号雨水幹線の計画ということを考えております。

今年度の取り組みの目標としましては、低段系への雨水取水ゲートの設置、工事発注10月ということを考えております。

次ページ、番号6、行動計画でいきますと23ページ、「重点地区の下水道整備（瀬戸排水区）」でございます。

2018年度、今年度の取り組みにつきましては、雨水排水ポンプを整備するというのを上げさせてもらっております。

短期・中期のスケジュールの項目としましては、雨水排水ポンプの整備。

今年度の目標としまして、雨水排水ポンプの整備、工事発注、本年2月に工事契約済みです。

次に、番号7と10番、行動計画のページ数で言いますと24ページと27ページ、「重点地区の下水道整備（中央・巖井排水区）」と「合流式下水道の再整備（中央排水区・巖井排水区）」でございます。

今年度の取り組みにつきましては、笹ヶ瀬ポンプ場の長寿命化工事と巖井ポンプ場の長寿命化工事。

短期・中期の取り組みの項目としましては、笹ヶ瀬笹ヶ瀬ポンプ場の整備、笹ヶ瀬ポンプ場・巖井ポンプ場の整備と、老朽化下水道の再構築、雨水幹線増強計画の策定というのを項目として上げています。

今年度の目標としましては、笹ヶ瀬ポンプ場、巖井ポンプ場の整備のほうを考えております。

次に、番号8、行動計画で言うと25ページ、「一般市街地の下水道整備」ということでございます。

今年度の取り組みとしましては、福島排水区におけるポンプ改築更新と、今保排水区における浸水シミュレーション、浜排水区におけるポンプ場の施設検討を考えております。

短期・中期のスケジュールの項目としましては、福島排水区、今保排水区、浜排水区、それと一般市街地における浸水対策の検討ということ項目として上げさせてもらっております。

今年度の取り組み目標につきましては、福島排水区、今保排水区、浜排水区で、それぞれ記載した内容のことを実施していく予定としております。

○西山会長 一旦すいません。ちょっとペースが速いので、一旦切らせていただいて、ここまで一旦議論をさせていただきたいんですが。

今ご説明、事務局からいただきましたように、このチェックシートが最終的に協議会に諮るチェックの対象になってまいります。まず、全体的に、今ご説明いただいたチェックシート、チェックシートの書式とか、内容は行動計画を写していただいているものがありますけども、チェックシート全般的に、何かお気づきのことがありましたら、ご意見いただきたいんですけども。

これがプランになりまして、このプランに基づいてチェックしていく。今のご説明いただきました部分は、比較的、こちらの行動計画で言いますと、担当するのが市のところに丸がついている項目で、比較的ハードウェアに近い内容が来るということになります。

ハード整備、市が行っていくハード整備の部分がメインになってまいります。いかがでしょうか、少し。

はい、西村委員。

○西村委員 真ん中の、この年をあらわしてる、アロー図といたらいいんですかね、これと、一番下の左側の「2018年度取り組み目標」というの、文章があるんですけど。番号でいくと3、9の一番下を見てみると、浦安11号雨水幹線どうのこうので、「シールドマ

シン製作開始」とか「立坑築造開始」とかという文章は出てるんですが、これに見合ったアロー図というか、例えばシールドマシン作成開始して、いつまでに完成するのかとか、立て坑は発注して、いつ頃、立て坑ができ上がるのかというのが、この文章とアロー図とが、合致してるところもあるんですけど、何か。特に、3の項目は、何かちょっと。

○西山会長 どれがどれに対応するのかというところもありますね。

○西村委員 そうですね。だから、今年度分ぐらいは、この目標のやつが全項目ぐらいあってもいいのかなという気がしたんですが、どんなでしょうか。ほかは何か、大体書いてあるかなという気はするんですけど。

○西山会長 少し気になるとしたら、西村委員おっしゃってるんだけど、全体が2023、2027と中・長期のところまで含んだアロー図になってまして、今年度の位置づけ、できるだけ、その年度に矢印描いていただけてますけども、多分、上の矢印に含まれたものが下にも出てくる。

○西村委員 「暫定供用に向けた整備」という中にこういう項目が入ってるんでしょうけど、今年度のチェックをするということになると、シールドマシンがいつまでに完成する予定でやってるのかというのが。

○西山会長 そうですね、私も、事前説明で説明しなかったんで申し訳なかった。私も、全体はここに、5年、10年って書いてあって、こちら5年、10年のチェックのところは、どうですかね、要るのか。今年度は今年度チェックで、もっと詳細にというところ、西村委員が指摘したいところだと思うんですけども。PDCAですか、これでいくと、毎年、毎年、その達成度をチェックしなさいというようなイメージなんで。

○西山会長 これ、事務局、ここに実績が入ってくるんですよね、チェックのときには。

○瀬島課長 そうです、はい。最終的に、この「取り組み目標」の横のところの「実績」のところ、この、例えば一次覆工、ここに、一次覆工の発注に対して、どうであったかという実績のほう、今度、次の5月ですね、評価してもらおうときのチェックシートのほうには、記入されるようになってきます。それで、どうであったかというのを評価していただきたいなというふうに考えております。

それとあと、今年度、具体にという話もあるんですけども、これが短期・中期までのスケジュールを書いたバーチャートとなっております、なっております、今年度の目標について具体、具体のものについては、この「取り組み目標」のところ、ここで具体的に書かせてもらって、それに対して実績を出していくという形で。ここにつきましては、「工事

発注契約」という中に、この内容が含まれるというふうに、事務局のほうでは、そういうふうに認識して書かせてもらっておるところでございます。

○西山会長 アローチャートが、全体を見回して、今年度がどこに位置づけにあるのかを、事務局のほうはつくっていただいて。この細かいところは、あくまでこちらで見てほしいと。こちらとしては、言葉は悪い、大ざっぱと言っちゃいけませんけども、2018、中・長期まで含めたアローチャートですので、その中にこれは入ってくる。

西村委員の指摘は、こっちを毎年チェックするんだから、もうちょっと、こっちのところのアローチャートも欲しいなというところですけども。具体的に3番、9番で議論しましょうか。「浦安11号雨水幹線整備」の中に、今ご指摘いただいた、例えばシールドマシン製作開始、立て坑の築造開始というのは、この矢印で言うと、この矢印中にやってしまうということなんですか。

○瀬島課長 そうです。この今年度の、この矢印の中で考えております。この矢印、違いますね。工事の発注・契約までが、この矢印のところ、このシールドマシンの製作開始とか立て坑築造開始というのが、2018年度でやるという形を書かせてもらってます。

○西山会長 2本目の上のやつ、こっちの矢印、スタートのところも入っていると、あくまで18のこの欄全体で見てほしいということですね。

どうでしょうか、ほか、委員の先生方、何か。チェックしにくいとか、何かご意見ございますか。

○齋藤（光）委員 ただいまのコメントとも関係すると思うんですけど、このアロー図の下の進捗率のところ、実績の2018から2022のところにも、多分数値が入ってくるんだと思うんですけども。これは、中期目標の達成を100%とした割合で記入していかれるのか、それとも1年ごとの達成率というか、年度ごとの達成率を100として記載されるのか、どちらになるんですか。

○西山会長 はい、なるほど。これ、質問の意味、わかりましたか。今年度の目標が全部達成したら、2018は100になるのか。そうではなくて、全体の100のうち何%なのか。

○瀬島課長 基本的には、ここにつきましては全体の、分母が全体の数値、目標の数値になっておりますので、それに対して何%になったかということで。この今年度の目標に対して、できたから100%という形では、というのは考えておりません。あくまで全体に対してどうであったかというのを考えるという数値を、ここであらわさせてもらっております。

○西山会長 じゃあ、ここの分は、本当、中・長期の中の位置づけと、齋藤委員、お考えいただけますでしょうか。

○徳田委員 市民がこれを見る機会というのは。

○西山委員 公開ですね、これは。

○瀬島課長 基本的には公開。ただ、市民いきなり、この表を見せるというのは、なかなか難しいので、あと、見せ方等につきましては、ちょっと考えさせてもらいたいというふうな。

○徳田委員 自分の住んでる地域は、すごい詳しく見られると思うんですよ。これに書いて、何、6月に着工の予定、まだしてなかったら、何か責められたりする。基本的には、これ、市の中でみんなが共有しとくべきことなんで、担当者同士がきちっと理解ができるような、私たちが見やすいというよりも、市のほうが見やすい、使いやすいというふうなされたほうがいいのかなと。

○西山会長 はい、ありがとうございます。

今、西村委員の発言を受けて、フォーマットという、私、振りましたので。こちらはそのまま市民に公開するわけではなく、市の職員がチェックに使っていただいたらいいというご意見でしたので、そうさせていただきたいと思うんですけども。

西村委員、どうでしょうかね。なかなか、これではチェックしにくいところもあるかと思うんですけども。

○西村委員 行政の方を絶対に信用するという。大丈夫でしょう。

○倉森委員 すいません、もう一つよろしいですか。

多分、これ、5年間、短期を見据えてつくられてるので、5年間、これ、同じ表を使っていくのかなと思うんですけども。例えば、今の3ページだと、割と取り組み内容が書かれていて、例えば次年度になったときに、2018をどう書いていくのかとかというのが、ちょっと気になるので。今年度という欄を、「取り組み内容」というところぐらい大きくとって、今の段階でこれをしているというのが、この大きい欄が右に右にずれていくというような感じで、棒だけではなくて、文字と棒と一緒にするとか。それで、例えば点々で描いて、実績、できた分を棒、実線棒にするとか、比較ができるようになってるのかなという気はするんですけど、いかがでしょうか。

○瀬島課長 今、事務局のほうで考えておったのは、このシート自体が、2019になったら、新たな目標ということで、このシートがどんどん増えていくという思いでおったんで

すけれども。

○倉森委員 はい、2019年になったときの18年を1枚で見返せるといいなというか。左側にだんだん、実績はこれだけあって、今、ここというのが、5年間は見続けていけるといいな。それにどうしたらいいかというのは、デザイン上の問題があると思うんですけど、何かいい方法があればなと思って。

○瀬島課長 表が長くなるんですけども。

○倉森委員 そう、そうなんです。だから、今年度という欄をちょっと大きくしながら移動していけるようなことなのかなとか思ったり。

○西山会長 横書きにすれば、比較的。

○瀬島課長 考えます。表が、この表自体がちょっと大きくなるかもしれないんですけども。

○倉森委員 たくさん書けばいいというものでもないと思うんですけども。できれば、同じ状況で、毎年リニューアルというか、したら見やすいかなと思うんですけど。

○瀬島課長 はい、わかりました。

○西山会長 倉森委員も、チェックする立場のご意見が来たと受け取っていただいて。

○瀬島課長 わかりました。

○西山会長 チェックシート、作りながら、見ていかなきゃいけない部分はあるかと思えますね、少し。今の意見を、ちょっと頭に入れていただいて。

○瀬島課長 はい、わかりました。直します。

○西山会長 あと、徳田委員から、市の職員がきちっとチェック、自分たちでもチェックできる形になっておればいいということでしたので。この段階では、チェックシートを変えてくださいというご依頼はしませんけども。

○瀬島課長 はい、わかりました。

○西山会長 少しもんでいきましょう、これ、やりながら。初めての試みでしょうから。

○瀬島課長 はい。

○西山会長 ほか、遠慮なく、ご意見ありましたら。

我々も、このチェックシートでどうチェックしていくんだというところがありますけども。さっき言いました、進捗率、パーセントでチェックしていくのか、これがうまくできたのか。

どうでしょうかね、ちょっと気になったのは、私、個人的に、じゃあ、1つ、意見。長

寿命化というのが出てくるんですけどもね、確かに長寿命化しなきゃいけないんですけども。これ、5月策定とか出てまいりますけども、長寿命化計画って、具体的にもうお持ちなんですか。

○瀬島課長 この河川の排水機場の長寿命化計画としましては、実を言いますと、昨年度から計画の策定を始めておりました。それで、5月はちょっと厳しくなっただけですけども、近々、岡山市が所管してる11排水機場の長寿命化計画につきましては策定するようにしております。

○西山会長 わかりました。これはあくまで、策定をするというのが今年度の目標になっておりますので、無理なきようにしていただきたいですけども。言いたかったのは、この段階で早くも、できてないのがあるんじゃないかという、厳しい、厳しい意見なのかもしれません、申し上げ、まだあと15日ありますので、頑張ってくださいと思いますけども。

というふうなチェックになりますので、くれぐれもご無理なきようにしていただきたいんですけども。

ほか、何かお気づきのところ。

はい、西村委員、どんどんお願いいたします。

○西村委員 このチェックシートは、いつ書きかえられるんですかね。それは、それぞれの項目ができ上がったときに書きかえられるんですかね。

○瀬島課長 この項目が変わるのは、一応、この、まず5月、次年度の5月に実績、出てきたものが出てきます。それで評価してもらいまして、新しく、新しい目標を立てるのが、9月から10月にかけて、来年度の予算要求のときですね。そのときに、予算要求に合わせて、新しいプラン、来年度のプランを立てる。

お手元の資料の、2ですかね、進行管理のスケジュールのところを書いてありますように、ここの青のところですね、青のところは次の次年度のプラン。

○西山会長 ほか、何かお気づきのところ。

よろしいですか、西村委員。

○西村委員 わかりました。

○齋藤（光）委員 多分、記載の間違いじゃないかなと思うんですけども、番号が2番の、2-1-3の施策のところ、短期の目標は、このチェックシートのほうで80%になってるんですけども、行動計画では、この14ページですかね。委員 100と書いてある

んですけれども、これは。

○西山会長 短期ですね。

○齋藤（光）委員 はい。

○西山会長 わかりました。短期目標が、チェックシートは80ですけれども。

○瀬島課長 すいません。

○西山会長 これは記載ミスですね。はい、ありがとうございます。

○瀬島課長 間違いでございます。

○西山会長 細かいのは、またチェックしていただいて、もう一回。

ほか、委員の先生方、何かありますか。

徳田委員からの指摘がありました、本当は、これ、下水のハードに係ることなんで、今やってるよというのが市民にわかれば、そのチェックシートを兼ねればいいんでしょうけども、これ、あくまで。

○徳田委員 難しい。

○西山会長 内部資料ということで。

ただ、この辺、やはり市民、敏感ですのですね。今、工事やるよとか、ここまで、おっしゃられたように、身の回りの下水道の工事が始まることですので。また、どう伝えていくかというのは、また別途、議論させていただきたいと思います。

はい、じゃあ、お願いします、事務局。

○齋野次長 事務局のほうでも議論してるんですけど、市民への見せ方みたいなところなんですけれども。さすがに、この計画チェックシートでお知らせするというのは。

○西山会長 ええ、無理ですね、はい。

○齋野次長 余りにもわかりにくいし、さっき徳田委員が言われたように、市の内部での確認に使って、あとはこの協議会でご意見を伺うために使っていきたいなと思っています。ただ、市民に対して何もせずに、何か知らないところで進行管理が進んでるとするのは、それでいいかというのも、我々、課題としてありまして。これにつきましては、例えば、直近であれば1年後になるんですけれども、今年度の実績を確認する実績報告、チェックの部分ですね、PDCA、その場があるわけでございまして。その場で、別途、今年度というか、昨年度こんな事業を進めました、必要に応じて、来年度はこんなことやっていきますというのを、もう少しわかるような資料ですね、例えばパワーポイントの写真つきの資料、そういうので出していったらどうかなというようなことを考えてはいます。た

だ、今回はあくまでも計画、こういう形でやっていきたいと思いますというだけなので、そんなビジュアルな資料、つくりようがなかったものですから、こういう、非常にわかりにくいというか、マニアックな体裁でお示ししてるんですけども。市民向けは、そういった形で別途つくっていく必要はあるなという形で考えてはいます。

○西山会長 はい、事務局も意識していくということなので。これはまた、協議会でも一緒に考えていきたいと思っております。我々、協議会としても、この協議会での取り組みをどう伝えていくかというのは、各委員の先生方をお願いすることになるかと思っております。いろいろ課題はあると思っておりますけども、今年度からの取り組みでございますので。

引き続き、時間をとりましたけども、議論したいことがございます。じゃあ、事務局の方、引き続きして、また一回切りたいと思っておりますので。

○瀬島課長 はい。それでは、番号11番、行動計画のページ数で言うと30ページになります。「下水道施設の維持管理」ということでございます。

まず、今年度の取り組みとしましては、下水道ストックマネジメント計画の策定ということで、短期・中期のスケジュールの項目としましては、下水道ストックマネジメント計画策定等、それと雨水管渠維持管理マニュアルの策定等を上げさせてもらっております。

今年度の目標としましては、下水道ストックマネジメント計画を策定しまして、国土交通省へ提出するというのを目標として上げさせてもらっております。

次に、番号12、行動計画で言うと31ページでございます。「河川施設の維持管理」としまして、2018年度の取り組みとしましては、維持管理計画策定に向けて情報収集と分析を実施というのを上げさせてもらってます。

短期・中期の取り組みの項目としましては、まず維持管理計画の策定ということを項目として上げております。

今年度の目標としましては、維持管理計画策定、既に策定している自治体、これの事例収集と分析を実施していくということを考えております。

次に、番号13、行動計画で言いますと32ページ、「既存排水施設の機能・操作性向上」ということで、今年度の取り組みの内容としましては、局所的な対策を実施する、それと藻（水草）に対する対策検討に着手というのを上げさせてもらっております。

短期・中期の取り組みの項目としましては、浸水対策特別事業の実施と浸水状況を分析、対策検討、それと藻への対策検討というのを項目として上げさせてもらってます。

具体的に、今年度の取り組み目標としましては、浸水対策特別事業、これ、浚渫事業以

下5事業を実施する。それと、町なか浸水対策の実施、それと藻対策について岡山大学様との共同研究を開始するというのを、今年度の目標として上げさせてもらっております。

次に、番号14、行動計画で言いますと34ページ、「雨水取水ゲートの遠隔操作化」ということで、今年度の取り組みとしましては、5基のゲートを遠隔操作化するというのを取り組みとして上げさせてもらっています。

短期・中期の取り組みの項目としましては、ゲートの遠隔操作化、設計、工事をやっていくというのを上げさせてもらっています。

今年度の目標としましては、4基のゲートの詳細設計、それと5基のゲートについて工事を実施するというのを今年度の目標としております。

次に、番号で言いますと15番、16番、行動計画で言いますと36ページ、37ページでございます。「児島湖、用排水路、ため池などの水位事前調整」、①番、児島湖と、②番、用排水路でございます。

今年度の取り組みの内容としましては、台風接近前等に関係市町と連携して岡山県の水位調整に協力する、水位調整の取り組みを継続実施する、水位調整の実態を把握していくというのを、取り組みとして上げさせてもらっております。

取り組み内容の項目としましては、水位調整の協力、事前水位調整、水位調整効果の検証、それと水位調整取り組み拡大、水位調整適用範囲の拡大というのを項目として上げさせてもらってます。

今年度の目標としましては、まず水位調整に協力します。それと、水位調整の継続実施、水位調整の効果検証というものを目標として上げさせてもらってます。

次に、番号17、行動計画で言う38ページでございますけれども、「農業用排水路の維持管理」ということでございまして、今年度の取り組みとしましては、適切な維持管理を継続して実施していくということです。

短期・中期の項目としましては、適切な維持管理の継続と特別浚渫の実施、それと日々の点検・監視を支える体制強化、それと幹線水路等の主要施設のデータベース化、効率的・効果的補修、更新整備の推進と、特別浚渫の強化というのを項目として上げさせてもらってます。

今年の目標としましては、まずは適切な維持管理の継続ということと、特別浚渫の実施と、日々の点検・監視を支える体制強化ということで水利関係者等の実態調査等を考えておるところでございます。

次に、番号18、行動計画で言いますと39ページ、「道路施設の排水機能確保のための維持管理」としまして、今年度の取り組みにつきましては、道路維持修繕管理要領の見直し、要領に基づく定期的なパトロールや補修を実施する、それと市民からの異状発見通報などの情報提供の啓発、老朽化した道路排水施設の修繕・更新と道路排水施設の清掃とを上げさせてもらってます。

項目としましては、道路排水機能の確保ということと、老朽化施設の修繕・更新、施設の清掃を短期・中期の項目として上げさせてもらっております。

取り組み目標につきましては、まず道路維持修繕管理要領の見直し、それと市民からの異状発見通報などの情報提供の啓発、老朽化した道路排水施設の修繕や更新の実施、それと道路排水施設の清掃の実施というのを、取り組み目標として上げさせてもらっております。

次に、番号19、42ページ、行動計画で言いますと42ページ、「緑化の推進」でございます。

今年度の取り組みとしましては、重点地区（西部新拠点）の緑化というのを上げさせてもらっております。

項目としましては、「緑の基本計画」に基づく公園の整備の推進ということと、市民の緑化意識の高揚というのを短期・中期の項目として掲載しております。

今年度の取り組みの目標としましては、西部新拠点地区、これのところの2.43haの緑化の整備を予定しております。それと、市民向けのPR活動の実施、緑化フェアでPRをする予定というのを目標として上げております。

○西山会長 はい、一旦、ここで切らせていただきます。ありがとうございます。ずっと、おしゃべりされて、お茶とか水を飲んでいただいたら結構かと思うんですが。

ここで一旦、また議論させていただきたいんですけども。先ほどは、実は担当は市が担当するハードだったんですけど、今ご説明いただいた取り組みの中に若干、市民が担当するのが入ってくる。そうすると、そのあたりを議論していきたいと思うんですけども。全体的に、もう一回、今までご説明いただいたことで、何か気がつくところがありましたら、まずご意見いただきたいんですけども、何かございますか。

もちろん、定量的に何%と言えない部分が若干入ってまいります。13番、岡山大学の共同研究、これ、私、頭痛いところがあります。私のことを、皆さんでチェックいただくかなと、今、大変だなと思いましたが。若干、ソフト的なところ、入ってまいりまし

て、なかなか定量化が難しい目標も入ってまいりました。いつ、どこまで、何%と、なかなか言いづらいところもあってですね。着手というのが、あくまで目標。着手した結果、どうなるかというところが、なかなか書き切れないところもあるんですけども。

何か気になるところ、ございますか。

例えば、じゃあ、18番、番号、少し議論いただきたいんで、ここは、例えば既存ストックの有効活用というところで、市民からの異状発見通報などの情報提供の啓発、これが今年度の目標で。具体的には、「市民のひろば」8月号とかホームページに情報提供の呼びかけを掲載予定、書いていただいております。さっき言いましたように、市民がだんだん入ってくる部分、この後、実はソフトの対策が随分入ってくる項目があります。ここ、市があくまで、市民に対してすることですので、実施者は市になりますけども。2-4-6の項目、17番とかですね、農業用排水路の維持管理、日々の体制強化。

○川上委員 日常的に行政が管理してる部分とあって、チェックシートにする必要性あるんですか。

○西山会長 そこですね。

○川上委員 やってるのが当たり前なんだし。

○西山会長 あえて、そこも書いて。ですから、それをチェックすることじゃないですけど、一応、計画、今年度の行動として書いていただいているんですね。

いかがですかね、どうしてもそうなっちゃうところ、川上委員、ありましてですね。

○川上委員 やられてるんだと思うんで、結構かなと。

○河原部長 まさに、このチェックシートの意味合いで言うと、川上委員が言われるとおり、なかなか定性的に書けるものでもなくて、管理をしていくというのはどうかなというご懸念といたしますか、考え方というのは理解できるんですけど。違う視点から、少しお話をさせていただくと、行動計画をする中で、維持管理のところへ目を当てて項目出しをしたというところが、実は僕らの行政側にとって、重要なことかなと思ってます。最近、限られた財源って言葉をよく使ってるんですけど、非常に維持管理をする側が厳しく、市の内部でも財政のほうへ締めつけられている。私自身も今までの職責の中で、いろんな部署の管理をしてきた経験上、こういうところでしっかり維持管理の重要性、そうしたものが表に出して、必要性をアピールしておく。協議会の中でも、その辺の必要性をしっかりと共有していただくということも、僕ら行政側として、ここ、やるのは当たり前、どんどんお金を減らされると、やりたくてもやれなくなってくるという、厳しい状況がございます。

そういう視点からも、維持管理全体をこういうところでピックアップをさせていただいたというふうにご理解いただけると、ありがたいかなというふうに思います。

○西山会長 幅広い意味で、日々の管理もきちっと岡山市の浸水対策行動計画の中に入っているんだということを改めてアピールする意味でもということもあるかと思しますので。貴重なご意見だと思いますが。こちらも改めて、みんなに見ていただく形でも記載させていただきたいと思います。ありがとうございます。

ほか、何か、よろしいでしょうか。

続けて、じゃあ、もう一つ、会長の立場から。例えば、19番ですね。市民向け、農地・森林・緑地の保全、2-5-1、「緑化の推進」、市民向けPR活動の実施、緑化フェアでPR予定。くどいようですが、PRできたかどうかというのは、されたほうがチェックするのであって、本当にPRできたかどうかは、それ、市民向けだったら、市民に聞くしかない。ですから、このあたり、さっきから言いたかったのは、要は市民向けというところには、どこか、やはり市民の意見、このPR活動のときにアンケートをとって、どうでしたかとか、何か市民の方に、今回のPR活動どうでしたかというふうな、そういう何か、この協議会でその資料に基づいてチェックして、みんなで考えましようみたいな。市民の意見を聞いてもらうようなところを、ちょっと入れていただきたい。特に、PR活動のところですね、ありがたいなど。言いたかった結論は、そこなんですけども。ちょっとお考えいただきたいなど。

○西山会長 ほか、よろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○西山会長 じゃあ続きます、20番から。はい、お願いいたします。

○瀬島課長 はい。では、番号、それでは引き続き、番号20、行動計画で言いますと44ページでございます。「農地・森林の保全」ということで、まず今年度の取り組みとしましては、農地の大区画化や排水改良等による農業生産の向上、主要な農業用施設等の点検体制を整備し、改修や補修、長寿命化対策を推進して農用地を確保、林道等の維持に努めるとともに、森林境界の確認等の施業集約化の促進、森林公園の維持管理を行って、市民に憩いとレクリエーションの場を提供するというのを取り組みとして上げさせてもらってます。

短期・中期の項目としましては、農業生産性の向上、圃場整備とか排水改良、農用地確保、それと林道等の維持、施業の集約化と森林公園の維持管理を上げさせてもらっており

ます。

今年、今年度の目標としましては、農業生産の向上として、圃場整備と排水改良を実施していく。農用地確保としましては、主要施設の点検整備の実態調査。それと、主要施設等の改修・補修の長寿命化計画に向けたものの対策の準備ということでございます。それと、林道の維持。

次のページにしまして、施業の集約化の促進と、森林公園、3公園がありますけども、その維持管理ということ、今年目標として上げさせてもらっております。

次に、番号21番、行動計画で言うと46ページ、46ページでございます。これは実施担当課のほうで2つに分かれるということで、ここの分については、シートについて2枚に、この行動計画は1枚、1ページなんですけど、2枚に分けさせてもらっております。

「市管理の施設における雨水貯留・浸透施設（市管理施設）」でございます。

これにつきましては、今年目標としましては、公共建築物の新築・増築に際して、雨水貯留施設の設置を推進する。

短期・中期の取り組みの項目としましては、公共建築物等への雨水貯留施設の整備、下のほうへ、予定しておく公共施設の工事のほうを列挙させてもらっております。それと、新築・増築時の雨水貯留施設整備の継続。

今年目標につきましては、雨水貯留施設の設置の推進として、高島小学校の貯留施設整備、0.357m³の実施を予定しております。

次に、番号22、これも同じく、行動計画で言うと46ページでございます。「市管理の施設における雨水貯留・浸透施設」として、西部総合公園。

今年取り組みとしましては、西部総合公園の雨水貯留施設の整備ということで、取り組みの内容としましては、西部総合公園雨水貯留施設、各地区に分かれておりますところの整備をするということでございます。

今年取り組み目標としましては、流域5のイベント広場、1,383m³の貯留施設整備を実施する予定としております。

次に、番号23、行動計画で言いますと48ページ、「市管理の施設（学校）における雨水貯留・浸透施設」ということで、今年度の取り組みとしましては、雨水貯留タンクを3小学校に設置するということと、タンク設置の3小学校に対して出前授業を行って、浸水対策の啓発を行うということを取り組みとして考えております。

短期・中期の取り組みの項目としましては、雨水貯留タンクの設置と出前授業。

今年の目標としましては、雨水貯留タンクを3小学校において設置するというのと、タンク設置の3小学校に出前授業を行って、浸水対策の啓発を行うということを目指しております。

次に、番号24、行動計画で言いますと49ページ、「透水性・排水性舗装の採用」ということで、今年の、今年度の取り組みとしましては、県道岡山児島線、県道岡山玉野線において、排水性舗装を整備するというの取り組みとして上げております。

項目としましては、排水性舗装の整備ということで、以下に書いております路線において排水性舗装を整備していくということを短期・中期の取り組みの項目として上げております。

今年度の取り組みの目標としましては、県道岡山児島線で排水性舗装6,000㎡と、県道岡山玉野線で排水性舗装4,000㎡を施工することを目標としております。

次に、番号25、行動計画で言いますと50ページ、「国等公共機関の管理する施設における雨水貯留・浸透施設」ということで、今年度の取り組みとしましては、国等の公共機関への整備促進の啓発を実施していくことを考えております。

取り組みの項目としましては、雨水貯留施設の設置と関係機関への整備促進の啓発を考えております。項目として上げております。

今年度の取り組みの目標としましては、新築、増築、建てかえ時等の雨水排水計画協議を着実に行って、雨水貯留施設を設置していく。それとともに、県の担当部署を訪問しまして、整備促進の普及啓発を実施していくということを今年の目標としております。

次に、番号26、行動計画で言いますと51ページ、「開発行為等における雨水流出抑制対策の実施」ということで、今年度の取り組みとしましては、開発業者等に周知広報活動を実施することによって、着実に流出抑制対策を実施してもらうというの取り組みとしております。

取り組みの内容の短期・中期の項目としましては、流出抑制対策の実施と開発業者及び建築確認機関への制度の周知広報というのを短期・中期の項目として上げさせてもらいます。

今年の目標は、3,000㎡以上の開発行為等の事前協議時に、確実に流出抑制対策を講じるように指導するというのと、県建築士協会及び県建築士事務所協会、及び不動産協会、民間建築確認機関、15機関ですけれども、そこへパンフレット等での流出抑制対策の啓発活動を実施していくということを今年の目標としております。

次に、番号27、行動計画で言いますと52ページ、「戸別住宅等における浸水被害軽減対策に対する助成等」ということで、取り組みの項目としましては、助成制度の運用と制度の広報というのを項目として上げさせてもらっております。

今年の目標としましては、雨水貯留タンクの推進として、目標、申請100件、約20m³の貯留ということを考えております、目標としております。それと、雨水貯留タンクを設置しまして、市民への浸水対策に対する意識向上を図っていきたい。それと、制度の広報を実施して、よりよい広報のあり方についての検討というのを今年の目標として上げさせてもらっております。

○西山会長 はい、じゃあ、ここでまた一旦切らせていただきます。ありがとうございます。

この後、減災対策が来ますが、その前に一旦切らせていただきまして、ここまでお気づきのところ、何かございますでしょうか。少し、2018がスタートで、最後まで線を引っ張ってる部分も、矢印がある部分もあるんですが。何かお気づきのところありましたら、ご意見いただきたい。

はい、徳田委員、お願いします。

○徳田委員 21番の工事の太線になってるのは、ほかと。線が、矢印が太い線になってますよね。

○西山会長 特に、これは意味はあるんですか。

○瀬島課長 いや、特には意味はございません。どちらかに統一するようにします。

○西山会長 少しカラーでつくられたかもしれませんね。

よろしいですか、何か。ご意見、何でも結構なんですけども。

○齋藤（光）委員 進捗率の、すいません、また数値の件で。番号が23番の施策2-6-2のところ、多分48ページが対応すると思うんですけども、中期目標の数値が32。

○瀬島課長 34ですね。すいません、修正します。

○齋藤（光）委員 前のも、戻ったら、14番の。はい、14番の、ごめんなさい、2-4-4の既存ストックの、雨水取水ゲートの。これは多分、こっちの行動計画のほうが50%ってなってるんですけど。正しいのは、44ですかね。

○瀬島課長 34分の17ということで、50が正しいと思います。

○齋藤（光）委員 34ページと対応しますと。

○瀬島課長 すいません、下のロードマップのほうが間違いという。ちょっとここは、す

いません。

○西山会長 気がつきませんでした。すいません、ありがとうございます。なるほど。

ほか、何か。特にございませんか。

はい、倉森委員、お願いします。

○倉森委員 はい。個人的に気になったんですけども。27番、民間施設における貯留浸透施設の設置の、タンク助成制度というのは、今後ずっと続けていけるのでしょうか。申請の助成制度が、概ね10年まで、ずっと続けていく予定ではある。

○瀬島課長 続けていきたいと。

○倉森委員 今年度は100件で、その後125件、ずっと継続していったんですけど。最初の目標が大きいほうがいいのかと、個人的に思ったんですけど。

○瀬島課長 5年の目標を上げさせてもらっているので、短期の目標というのを設定しておりますんで、それに向けて頑張っていきたいということで載ってます。

○倉森委員 わかりました。助成があると、皆さん、それなりには来ると思うんですけど、なくなった途端に、ぴっと、やんでしまいがちななと思ったんで、是非続けていただきたいと思います。

○西山会長 はい、止水板もそうだと思います。はい、わかりました。この後、出てまいりますので。

よろしいですか。

じゃあ、続けてまいります。じゃあ、残りをお願いいたします。通してお願いします。

○瀬島課長 はい。では、減災対策ということで、行動計画で言いますと55ページ、「内水ハザードマップの活用」ということで、今年取り組みとしましては、継続的な内水ハザードマップの周知と配布、避難行動に対する啓発、それと出前講座の継続的な実施を取り組みとして考えております。

短期・中期の項目としましては、内水ハザードマップの配布と、広報紙、広報活動の検討、出前講座の開催、公民館への案内配付というのを項目として上げてさせてもらっております。

次に、今年目標でございますけど、目標につきましては、内水ハザードマップの周知・配布、避難行動に対する啓発として、以下のことを実施する予定としております。それと、出前講座の継続的な実施、年5回程度の出前講座を実施する予定としております。

次に、番号29、行動計画で言いますところの56ページでございます。「地下街防災体制

の構築」ということで、今年目標としましては、未策定地下街管理者等への避難確保計画の作成の推進を行うということでございます。

取り組みの内容としましては、短期・中期の項目としましては、避難確保計画の作成の推進を継続、水位情報の通知・周知システムの構築、止水板設置に対する助成制度ということ項目として上げさせてもらってます。

次に、今年目標でございますけども、避難確保計画作成の推進として、想定最大規模の洪水浸水区域内の地下街を抽出する。それと、未策定地下街管理者等への戸別訪問によって策定指導を実施するという事を考えております。

次に、30番、行動計画で言いますところの58ページでございます。「水防資機材の支給」ということで、今年取り組みとしましては、水防資機材の支給の継続と、止水板設置に対する助成制度の検討を考えております。

短期・中期の項目、取り組みの項目としましては、水防資機材の支給と新たな体制づくりの検討、それと止水板設置に対する助成制度ということ項目として上げさせてもらっています。

今年目標としましては、水防資機材の支給、以下の資機材としての支給を継続することと、新体制の検討と、止水板設置助成制度の創設というのを考えております。

次に、番号31、行動計画で言いますと60ページでございます。「地域防災体制の構築」ということで、今年目標としましては、自主防災会の結成促進及び活動活性化として、短期・中期の取り組みの項目としましては、自主防災会の結成促進及び活動活性化ということで、以下の内容を項目として上げさせてもらっております。

今年目標としましては、自主防災会の結成促進及び活動活性化として、防災資機材の支給だとか地域防災マップの作成支援、出前講座等による啓発と防災訓練等の取り組み支援と、自主防災交流会の開催、これは年2回程度の予定でございます。それと、防災士養成講座の開催、これは2月に開催予定。ということを考えております。

次に、番号32、行動計画で言いますところの63ページでございます。「気象情報、河川・児島湖水位、雨水幹線水位、避難情法等の情報提供」ということで、今年取り組みとしましては、緊急情報手段に係る基本構想の設計、被災現場情報収集・把握機器の導入・運用というのを取り組みとして上げております。

短期・中期の取り組みの項目としましては、緊急情報手段の多様化と被災現場情報収集機器の導入・運用ということ項目として上げさせてもらい、今年目標としましては、

緊急情報手段の多様化として、同報系防災行政無線の法規制への対応を含めた緊急情報伝達手段の基本構想・設計を実施するということと、被災現場情報収集・把握機器の導入としまして、災害用のモバイル端末（スマートフォン14台）を導入して、早期の運用を図るということ今年を目標として上げております。

次に、番号33、行動計画で言いますところの65ページでございます。「水防に対する意識向上対策の検討」ということで、今年取り組みとしましては、防災まちづくり学校及び防災士養成講座の開催と、自主防災会の結成促進及び活動活性化ということを目指して上げさせてもらってます。

短期・中期の項目としましては、防災まちづくり学校の開催、それと、これは2-10-1の再掲となりますけれども、防災士養成講座の開催、それとこれも、次も2-10-1の再掲となりますけれども、自主防災会の結成促進及び活動活性化ということ項目として上げさせてもらってます。

今年取り組み目標としましては、防災まちづくり学校、5月から11月に8講座を予定しておるとございまして、それから、次に防災士養成講座と自主防災会については再掲でございますので、説明は省かせてもらいます。

次に、番号で言いますところの34、行動計画で言いますところの67ページ、「洪水ハザードマップの活用」ということで、今年取り組みとしましては、洪水ハザードマップ作成方針の検討ということで、取り組みの短期・中期の項目としましては、洪水ハザードマップの作成・配布と洪水ハザードマップ周知・啓発というのを項目として上げさせてもらっております。

今年目標としましては、洪水ハザードマップの作成・配布として、その中で作成方針のまずは検討をする。以下は、国・県のL2の浸水被害想定区域の策定状況のほうは、以下のとおりでございます。

次に、番号35、行動計画で言いますところの68ページ、「水防体制の強化等」ということで、今年取り組みとしましては、旭川水害タイムラインの訓練と振り返りの実施ということで、短期・中期の項目としましては、旭川水害タイムラインの振り返りと岡山市タイムライン（仮称）の策定ということ項目として上げさせてもらっております。

次に、今年目標としましては、まずは旭川タイムラインの運用の振り返りということで、以下の振り返りを実施することとしております。

次に、番号36、行動計画で言いますところの69ページでございます。「防災活動を通じ

たコミュニティの形成」ということで、今年取り組みとしましては、防災まちづくり学校及び防災士養成講座の開催と自主防災会の結成促進及び活動活性化というのを取り組みとして、今年取り組みとして上げさせてもらっております。

短期・中期の項目としましては、防災まちづくり学校の開催、これは2-11-2の再掲となっております。次に、防災士養成講座の開催、これは2-10-1と2-11-2の再掲となっております。次に、自主防災会の結成促進及び活動活性化、これも2-10-1、2-11-2の再掲ということになっております。

今年目標につきましては、再掲でございますので、説明は省かせていただきます。

次に、番号37、行動計画のページ数で言いますと71ページ、「自主防災組織や消防団等と連携した防災訓練実施」ということで、今年取り組みとしましては、総合防災訓練や水防訓練の実施と若者の訓練参加のための工夫をするということと、それと事業者等を対象とした出前講座ということと、今年取り組みとして上げさせてもらい、短期・中期の項目としましては、総合防災訓練・水防訓練、それと事業者等を対象とした出前講座というのを短期・中期のスケジュールの項目として上げさせてもらっております。

取り組み目標、今年目標としましては、総合防災訓練、これは9月に実施予定、それと水防訓練、6月に実施予定なんですけども、これを着実に実施するということと、若者の訓練参加のための工夫をしていくということとでございます。それとともに、事業者等を対象とした出前講座をするということとを今年目標としております。

説明としては以上でございます。

○西山会長 はい、ありがとうございます。長時間にわたり、ご説明ありがとうございました。

全体を見ていただきまして、だんだん、チェックシートの位置づけというか、役割というか、頭へ入ってきていただいたと思いますが。最後の部分を含めまして、全体を通して何かご意見ございますでしょうか。ありましたら、お願いしたいんですけども。

○徳田委員 市民への啓発がほとんど、矢印しただけに、何日にどこで出前講座をしたとかというのを書くのでしょうか。それとも、この矢印のままで、何回やった程度にするのか。

○瀬島課長 はい。ここの実績のとき、実績欄にですね。何月にやったとかというのを、こっちの目標と合わせて、目標と対比させて書く予定にはしておりますけれども。

○徳田委員 ここに書き切れないぐらい、する予定ですか。

○西山会長 この段階、チェックシートの中ではこれで、ここには具体的に日にちまでは書いていなくて、こっちに書いていくということですね。

○徳田委員 実績に書く。

○西山会長 はい。

○斎野次長 書き切れないぐらいたくさんであれば、回数になっちゃうかもわかりませんが、そこは臨機にしたいと思います。

○西山会長 改めて、全体を通してでも結構ですので、何かございますか。

はい、柴山委員、お願いします。

○柴山委員 35番の避難体制の整備・周知で、タイムラインの話があるんですけど。短期の目標と中期の目標で、訓練と書いてあるんですけども、不断に実施するということですね。下の矢印だと、これはどこに該当するのか。机上演習のところなんですか。それ以外だと、訓練というのが読めないような感じですけど、項目を足すのか、机上演習を伸ばすのかという、何か、そこら辺が整理が必要なんじゃないかなと思いましたが。確認いただけると。

○瀬島課長 中期目標ですね。

○西山会長 ご趣旨わかりますか、大丈夫ですか。

○瀬島課長 はい。タイムラインの訓練のところ、中期まで入っておりますので。

○西山会長 運用振り返りというのは、毎年やっていくものだと思いますので。

○瀬島課長 机上演習というのは毎年やっていくので、ずっと、中期までやっていくという形で、線を、線を最後まで引かせてもらうという形になります。

○柴山委員 あと、24番の透水性・排水性舗装の採用という項目で、単に記載がないだけだと思うんですけど、県道で細かいところ、県道とか市道とかで細かく項目立てされてますけど、矢印がないので。目標に書かれてるところは、矢印を引いていただいたほうがよいのかなと思いました。

○西山会長 これは、あれですか、できるところからという意味ですか。

○瀬島課長 はい、そうです。基本的には、これはまず排水性舗装の整備を、まずやっていきたいと思いますというのを一本線を引っ張ってまして、その対象となる路線名がこれだけあるという形です。まず、できるところからやっていくということ、項目だけを下のほうへ上げさせてもらったという意味合いで書かせてもらってはおりますけれども。

○西山会長 情報公開のあれが、まあ少し、そこ、一文入れといたらよろしいかと。

○柴山委員 これ、目標のところへ、市道藤田浦安南町線と岡山児島線、岡山玉野線が、概ね5年でやりますと書いてあるんですね。概ね10年のところには、その箇所はないから、矢印が引けないんですかね。目標の文言を見る限り、引けるんじゃないかと思うんですけど。

○斎野次長 ご指摘、ごもっともなんですけれども。今年度、来年度ぐらいだったら書けるところがあるんです。書けるところは書いていきたいと思っています。それ以上になっていくと、地元調整だったり、予算の都合上だったり、非常に書きづらいというか。地元調整も終わってないのに、何書いてんだみたいなご指摘、ないとも限らないです。これ、ここで工事の案件全体に言えるんですけども、そういうところは実は若干曖昧にせざるを得ないところがあります。ただ、ご指摘のとおり、書けるところは書き込んでいきたいと思っています。

○西山会長 若干、目標はあくまで目標というところが出てくるかと思います。特に、この舗装のところは、今までの実績もありますし、これ、結構、歩道だから、まだメンテナンスは楽なんですかね。これ、決して車道に入れないんですよ。車道に入れていくんですかね。

○瀬島課長 いや、歩道。

○西山会長 歩道に透水性ですよ。

○瀬島課長 はい、歩道です。

○西山会長 排水性は、車道になりますよね。

○瀬島課長 はい。ここは排水性、歩道には透水性で。

○西山会長 透水性。

○瀬島課長 ここの排水性のほうは、車道。

○西山会長 車道になりますよね。かなり、メンテナンスサイクルも入ってくるころもあるので、この分は、なかなか目標、あくまで線を引っ張っていただけになるとは思いますが、私もね。ここでご了解いただきたい。ただ、対象路線はこうだということを一文入れといていただいて。何かあったときに。

○瀬島課長 はい、わかりました。

○西山会長 協議会でどういう議論をしてたんだということ、ありますので、お願いいたします。

○斎野次長 一文を入れさせていただきます。

○西山会長 ほか、何かお気づきのところありますか。

先ほど、倉森委員から質問した、ここの資料5が、3、4、5の説明ということなので、もしなければ、資料5の説明だけ、先にしていただけますか。

○瀬島課長 はい。資料5、すいません、資料5でございますけれども、これは定量的な指標、定量的な指標を目標としたチェックシート、これの分母となる数値、これを書かせてもらっております。それとともに、当初と短期・中期と最終目標の進捗率、これをそれぞれ定量的な、数値を目標としたチェックシートの分母の数値を表現したものでございます。

○西山会長 資料4の数的根拠を1つ、資料5に。

○瀬島課長 そうです。

○西山会長 すいません、それ、本当は引用しながら、私、ご指摘すればよかったかもしれませんが、改めて、数的根拠はちゃんと資料5に出してるということになりますので、ご了解ください。

よろしいでしょうか、全体的。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○西山会長 特になければ、次の議事に移って。市の職員の皆さん、大変でしょうけども、こちらも初めての試みになりますので、是非進めていっていただいて。

若干、この後、見直すところ、特にございませんですね、計画はこのとおりに行く。

○瀬島課長 とりあえず、計画はこれで。様式等はちょっと大きくなるかもしれませんが、れども。

○西山会長 じゃ、初年度、この形でいかせていただきたいと思います。

○河原部長 今日のチェックシートの中で、実は「何月発注予定」、少しリアルなことを書いてるシートがございます。僕ら、全体でチェック不足なところもあったんですが、一応参考資料として公開をするという前提でつくってるつもりだったんですけど、若干ミスジャッジがありましてですね。今後協議をいただく本編には、何月発注というようなリアルなところは省かせていただくということだけご了解をいただいて、その辺も改めて修正をさせていただきます、今後、チェックシートを整理させていただきます。

○西山会長 これ、回収しなくていいですか。

○河原部長 これは、参考資料という、たたき台で公表させていただくということにさせていただきます。

○西山会長 こちらの資料4もよろしいですか。

○河原部長 ええ、もう今日の資料は差しかえるということにはならないので。

○西山会長 はい、わかりました。

○河原部長 その辺、注書きを入れて公表させていただけたらと思います。

○西山会長 ただ、委員の先生方、さっきご指摘ありました、何月発注と書いてますので、資料はくれぐれも慎重に扱っていただくようお願いします。

はい、それでは議事3番目、「その他」の説明、お願いしたいと思います。まだ資料が残っております。事務局の方、「その他」、資料6になりますか、説明、よろしく願いいたします。

○河原主査 河川防災室の河原と申します。それでは、昨年度末に本協議会で策定されました行動計画2018、それから雨水流出抑制施設設置補助金制度の拡充について、これまでに行った広報活動の実績と今後の広報活動の予定についてご説明いたします。座って説明させていただきます。

お配りしております資料6、A4横の資料、「岡山市浸水対策推進の広報について」をご覧ください。

まず、広報活動の実績についてご説明いたします。

番号1の岡山県建築士会、それから岡山県建築士事務所協会につきましては、パンフレットの配布を行いました。

実際に配布したパンフレットですが、資料を1枚めくっていただいて、右上に、米印に番号を振っております資料※①、②、③までの計3枚の配布を行いました。具体的には※1、これは行動計画2018の概要のパンフレットです。それから、※2、これは雨水流出抑制施設設置補助金制度の拡充の概要。それから、※3、これは開発行為や建築行為等を行う場合の雨水排水計画について、岡山市との事前協議が必要になったというパンフレット、計3枚の配布を行いました。

また、岡山県建築士会、岡山県建築士事務所協会の両協会におかれましては、両協会のホームページへ、行政からのお知らせといたしまして、雨水流出抑制施設設置への助成制度の拡充について掲載していただいております。具体的なホームページの画面ですが、添付資料の※4、これが岡山県建築士会さんのホームページ、それから※5が岡山県建築士事務所協会さんのホームページの画面です。添付資料の左側が協会のトップ画面でして、そちらをクリックいたしますと資料右側の画面に移行し、助成制度の詳細が確認できるよ

うになっております。

また、両協会の会報5月号に、添付資料※2のパフレットを折り込んでいただきおり、両協会には多大なご協力をいただいております。

次に、番号2の岡山県不動産協会につきましても、同様にパンフレット※①、②、③の配布を行っています。

また、岡山県不動産協会のホームページにも、建築士会、建築士事務所協会と同様に、助成制度の拡充について掲載していただいております。具体的には、添付資料※6のように掲載していただいております。

次に、番号3の民間指定確認検査機関全15社につきましては、同様にパンフレット※①から③の配布を行い、関係機関へ周知していただくように依頼しております。

続いて、岡山市の取り組みとしましては、岡山市のホームページへ掲載すると同時に、広報紙「市民のひろば」の5月号へ行動計画の策定と助成制度の拡充について掲載しております。具体的には、ホームページの画面が添付資料※⑦、それから「市民のひろば」には※⑧のように掲載しております。

また、岡山市の関係機関へパンフレットの配布を行い、周知を図っているところです。

以上がこれまでに行ってきた広報活動です。

続きまして、浸水対策全般についての今後の広報予定ですが、広報紙「市民のひろば」6月号にお知らせといたしまして、岡山市のホームページで内水ハザードマップを公開していること、また各区役所などの窓口で配布していることを紹介します。同時に、浸水対策用の土のう配布のお知らせといたしまして、土のうの配布場所のお知らせを行います。今年から北区の配布場所が変更になりますので、地図を掲載して、市民の皆様へ広くお知らせいたします。

次に、本庁舎1階のポスターの掲示スペースに、6月上旬から7月中旬までの間、雨水貯留タンクのポスターを掲示し、市庁舎に来庁される市民の皆様へのPRを考えております。

3つ目は、イベントにおけるPRといたしまして、東区役所横の百花プラザで今週末、5月19日土曜日に開催される百花彩の中で下水道のブースを設けまして、実物の家庭用の雨水貯留タンクを展示し、雨水貯留タンクを設置するメリットなどをPRしていきます。また、10月20日に開催される緑化フェアでも同様の展示を考えております。

それから、市政ラジオ、通称というか、レディオモモでは、岡山防災メモというコーナ

一の中で、雨水貯留タンクの助成制度のPRを行います。昨日、収録が終わりまして、放送は今週末の5月18日金曜日午前10時40分から10分程度、また再放送が20日、日曜日、同じく10時40分から放送予定になっております。

次に、公民館などにおいて浸水対策についての出前講座を年5回程度開催できればと考えております。また、平成30年度に雨水貯留タンクを設置する予定の小学校、これら、ここに対して出前授業が行えるよう、各小学校に働きかけを行っているところです。

次に、国・県などの関係機関についても同様にパンフレットの配布を考えております。

今後の予定としましてはご説明をしたとおりですけど、今後もこういった広報活動を継続して行っていく、市民や事業者の皆様の浸水対策に対する意識の向上を図っていきたくと考えております。

説明は以上でございます。

○西山会長 はい、ありがとうございます。

一生懸命やっただいておりますけども、今後の計画を含めまして、委員の先生方、何かお気づきのところ、あるいは質問、ございますでしょうか。

○川上委員 岡山県不動産協会には案内いただいたみたいなんですけど、宅建協会にされなくてよろしいんですか。私の所属のほうだけに。

○西山会長 これは、したほうがいいのか、してくださいというご意見ととってください。

○川上委員 はい、あちらのほう不動産会社の数は多いので。

○桐野局長 わかりました。じゃあ、させていただきます。

○西山会長 川上委員、何か、ほか、お気づきの協会、宅建協会がよろしい。ございませんか。よろしいですか。

○川上委員 ないと思います。

○倉森委員 すいません。先ほどの資料4の26番のところに、戻るといいますか。この広報実績の例えば「岡山県建築士会」と書いてあるのが、下のほうには「建築士協会」と書いてあったり、「県不動協会」ってなったりしているんです。これ、市民に広報なんですかね。皆さんにお示しするんであれば、正しい名称にされたほうがいいのかと思います。気になりましたので。

○西山会長 ありがとうございます。

ほか、いかがでしょう。広報全般に関してのことで、ここにしたらいいとか、ここはど

うだとか、何かご意見をお持ちの委員の先生方、ございませんでしょうか。あるいは、米印で資料つけていただいております。何かお気づきのことありましたら。

これ、今どれ、どれぐらい、はけてるものですか、パンフレット。順調にはけてるとうか。そこまでトレースしてませんか。

○瀬島課長 つくった分は、全て。パンフは、配布はしております。2,000ほどつくりました。

○西山会長 ここの市役所に、パンフレットも置いてるということですね。

○瀬島課長 置いてます。各区役所等の窓口ということで。

○西村委員 はい。個人的な趣味もちょっとあるんですけども。チェックシートの31番目の一番下に、防災士養成講座の開催、2月開催予定ってあるんですけど。これは補助金を出すんじゃなくて、岡山市がやるということですか。

○瀬島課長 岡山市が。開催するというふうに聞いております。

○西村委員 市民の人だったら、どなたでもそれに参加してくださいというパターンですね。

○瀬島課長 すいません、ちょっと……。

○西山会長 即答できなかったら、また。

○瀬島課長 また、よく聞いて、また後で。

○西山会長 はい。

○徳田委員 かなりお金が高いからね。それを助成するのかどうか。

○瀬島課長 はい。確認して、それで。

○西山会長 本当は、参加いただいたほうがいいんでしょうけどね。

わかりました。またご確認ください。

よろしいでしょうか、全般的。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○西山会長 はい、長時間にわたりましてご議論ありがとうございました。ほか、もうございませんようでしたら、議題もこれで全部終了いたしました。ありがとうございました。

それでは、事務局にお返しいたします。よろしく願いいたします。

○山川課長 はい。これにて平成30年度第1回岡山市浸水対策推進協議会を閉会いたします。長い時間、ご審議ありがとうございました。

○西山会長 ありがとうございました。

午後 4 時48分 閉会